

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2000-123750(P2000-123750A)

【公開日】平成12年4月28日(2000.4.28)

【出願番号】特願平11-276064

【国際特許分類第7版】

H 01 J 11/02

H 01 J 11/00

【F I】

H 01 J 11/02 B

H 01 J 11/00 K

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月31日(2004.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前述したようなプラズマ表示装置において、前記第2及び第3電極14、15は透明なITOよりなっているので、ITO成膜とパタニングの製造工程が必要であった。

このような問題に対する一解決方案として、特許文献1では、各放電領域でのITO走査電極と共に通電極の形状を放電部位方向に突き出るように形成することによって、電極に流れる電流量を低減して放電電圧を下げる方案が提示されている。このようなITOなどの透明電極だけよりなる電極は、材料の電気伝導度が低いことから発生する問題が解決できないため電力損失が発生し、これは性能と材料の側面で今でもプラズマ表示パネル(PDP)製造の難点になっている。

【特許文献1】米国特許第5、640、068号

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

